



教育目標

ふるさとを愛し 夢を拓く 広野の子 ○学びを生かす子 ○未知に挑む子 ○共に創る子

今年度の重点

つながれ 八広！

～自信をもって確かな一歩を！～

社会に開かれた教育課程のマネジメント

教科指導における複式指導法の研究 個別指導の充実 家庭学習の取組強化 「学びチャレンジ」の充実

I C T環境を整備した学びのマネジメント

iPad/タブレットによる学びの個別化 I C T活用によるプログラミング教育の推進

期間

令和2年4月1日～令和2年7月22日

各種調査等から

三者評価から (矢印は前回比)

Table with 7 columns: 国語, 算数, 他教科等, 学習状況, 指導方法の工夫, 家庭学習の定着, 新学習指導要領への移行. It contains detailed survey results and evaluation data for various subjects and learning environments.

改善の方策

授業改善

- 新学習指導要領完全実施において適切な教育課程を編成し、実施する。
○「特別の教科道徳」の研究2年目として、道徳の「広野スタイル」を確立し複式授業を更に充実させる。
○本校の児童の実態を踏まえ、定着・繰り返しの指導を徹底し、個に応じた指導でつまづきを確実に克服する。

学習環境整備

- 帯広市の小中一貫教育実践に伴い小学校6年間・中学校3年間の学びのつながりを密にし、「もしりの取組み」等指導に一貫性を持たせる。
○ギガスクール構想を見据え、I C T環境の更なる整備と活用、「プログラミング教育」の充実を図る。
○辞書引きによる語彙力、読書活動の充実と文章要約による読解力の向上。

家庭・地域との連携

- 家庭学習のより一層の取組強化。
○学校、児童、家庭の三者で学びをつなぐ家庭学習を推進します。
○保小中の連携強化とコミュニティ・スクールにおける熟議。
○小中一貫教育における目指す子ども像を八千代中学校と共有し、9年間を見通した指導形態を構築する。

月別到達目標

Table with 6 columns: 月別到達目標, 授業改善, 数値目標, 学習環境整備, 数値目標, 家庭・地域との連携, 数値目標. It outlines monthly goals and numerical targets for each area.

評価

「子どもの姿(変容)」で成果を示す

★実態調査(児童へのアンケート、生活リズムチェックシート、結果の掲示) ★外部評価(保護者、学校評議員会等でのアンケート) ★全国学力・学習状況調査、チャレンジテストなど



教育目

ふるさとを愛し 夢を拓く 広野の子 ○学びを生かす子 ○未知に挑む子 ○共に創る子

年度の重点

つながれ 八広！

～自信をもって確かな一歩を！～

豊かな心を育てる教育課程のマネジメント

道徳の質的向上(エリアでの取組) キャリア教育(個別のキャリア形成)の推進 いじめ防止対策の充実

健やかな体をつくる教育課程のマネジメント

1年間を通じての「体づくり」の計画・推進 安心・安全な学校体制(災害訓練・緊急対応) 食育の推進

期

令和2年4月1日～令和2年7月22日

「豊かな心の育成」の今年度の重点 (矢印は前回比)

「健やかな体の育成」の今年度の重点 (矢印は前回比)

あいさつ・返事	思いやりの心を育む指導	いじめのない仲間づくり
児童: 3.9→ 保護者: 3.5↑ 学校: 3.4↑	児童: 3.7↓ 保護者: 3.6↑ 学校: 3.3↓	児童: 3.6→ 保護者: 3.6↑ 学校: 3.3↓
■自分から進んであいさつする場面が増えてきた。さらに、場面に応じたあいさつを指導徹底し、より一層の定着を図る。	■分け隔てなく仲間に対する優しさが素晴らしく、上級生をお手本にするという良き風土を更に充実させる。	■きめ細かな対応を心がけ、報連相の徹底を図る。いじめのない学級・学校づくりを今以上に推進する。

よい姿勢	新体力テスト									
	握力	上体	長座	反復	シャ	50m	立幅	ソフ	8種平均	
児童: 3.2→ 保護者: 3.3↑ 学校: 3.6↑										
	7.9	9.0	6.4	8.9	8.1	6.9	7.2	7.1	7.7	
	6.9	8.1	6.1	7.5	6.5	4.3	5.7	6.4	6.4	
■教職員は高評価であるが、児童の定着意識が低いので、日常的に心がけができるように、声かけ指導の継続を行う。	■男女とも、握力、上体起こし、反復横跳び、シャトルランの得点が高い。バドミントンの運動特性に関わる影響が多く好結果。 ■男女とも、長座体前屈の得点が低い。(柔軟性に課題) ■女子の50m走、立ち幅跳びは課題ある。(瞬発力・跳躍力)									

改善の方策

<b>日常指導・授業等の充実</b> ○あいさつ、返事、後片付けの基本的な生活習慣の更なる定着を図る。 ○思いやりの心や規範意識、命を大切に豊かな心を全学年で育てていく。	<b>家庭・地域との連携</b> ○状況に応じたあいさつ、返事の習慣を保護者に啓発していく。 ○子どものサインを読み取り、保護者との情報共有・交換を密に行う。	<b>日常指導・授業等の充実</b> ○朝の「体づくり」を取り入れ、柔軟性や瞬発力を鍛える運動を行う。 ○もしりの定着を目指す。(1日1回の声かけ)	<b>家庭・地域との連携</b> ○早寝・早起き・朝ご飯の推進。(家庭と協力) ○保育所、中学校と連携し、エリアファミリーの取組(小中一貫教育)を充実させ、八広の日の推進する。
---	---	--	--

月別到達目標

	日常指導・授業等の充実	数値目標	家庭・地域との連携	数値目標		日常指導・授業等の充実	数値目標	家庭・地域との連携	数値目標
4月	相手を見て、挨拶ができるようになる。	3.5	家庭・地域と連携し挨拶を指導する。	3.5	4月	授業中の姿勢に気を付けるようになる。	3.5	姿勢に気を付けるように家庭・地域と連携する。	3.5
5月	相手を見て、気持ちのよい挨拶ができるようになる。	3.5	気持ちのよい挨拶ができるように家・地域と連携する。	3.5	5月	立腰を意識させ、授業中の姿勢に気を付けるようになる。	3.5	姿勢に気を付けるように家庭・地域と連携する。	3.5
6月	学校生活全般を通して、正しい判断と責任ある行動ができるようになる。	3.5	家庭・地域と連携し、責任ある行動を意識づける。	3.5	6月	体力づくりに積極的に取り組むようになる。	3.5	体力づくりに取り組むように家庭・地域と連携する。	3.5
7月	学校生活全般を通して、正しい判断と責任ある行動ができるようになる。	3.5	家庭・地域と連携し、責任ある行動を意識づける。	3.5	7月	体力の向上を意識し、体力づくりに積極的に取り組むようになる。	3.5	体力づくりに取り組むように家庭・地域と連携する。	3.5

評価

「子どもの姿(変容)」で成果を示す

「子どもの姿(変容)」で成果を示す

★実態調査(児童へのアンケート、生活リズムチェックシート、結果の掲示) ★外部評価(保護者、学校評議員会等でのアンケート) ★いじめ調査(文科、帯広市、校内) など

★実態調査(児童へのアンケート、生活リズムチェックシート、結果の掲示) ★外部評価(保護者、学校評議員会等でのアンケート) ★体力テスト、全国体力・運動能力運動習慣等調査 など

